

社会福祉法人三河福祉会 ブランディング事業への取り組みについて

私たち社会福祉法人三河福祉会は、就学前乳幼児教育・保育の現場に携わる者として、“こどもの育ちを支える環境そのもの”に、深い価値を見出してきました。

けれども——

「保育現場では、どんな想いや価値観を大切にしてきたのか？」

「どんな人が、どんな想いで、子どもたちと日々向き合っているのか？」

そうした“保育現場に流れる空気”のようなものが、十分に伝わっていないのではないか——そんな想いが、私たちの胸の中にありました。

そこでこのたび、私たちは新たに「ブランディング事業」に取り組むことを決めました。これは、保育業界が大切にしてきた“本質”を、保育に携わる一人ひとりが自分の言葉で語れるようにするためのプロジェクトです。

- 言葉にしきれていなかった理念や文化を、組織全体で“誇りとして語れる状態”にする。
- 職員・保護者・地域の皆さんの声を体系的に整理し、感じている価値と事実を重ね合わせる。
- そして、一人ひとりがそれらを“言葉にすること”を通して、自分たちの仕事の意味をもう一度見つめ直す。

このプロセスを通じて、それぞれの保育現場“らしさ”がより鮮明になり、それが子どもたちの環境づくりにもつながっていく——そう信じています。

これから、同じ業界に携わる仲間の皆さんとも手を取り合いながら、“これまで言葉になりきれなかった価値”を少しずつ可視化していきたい。その積み重ねが、子どもたちの未来をより豊かにするはずだと考えています。